

令和7年度 第11回

みどり市定例教育委員会 会議録

令和8年2月6日 開会

令和8年2月6日 閉会

みどり市教育委員会

令和7年度第11回みどり市定例教育委員会会議録

令和8年2月6日（金曜日）

議事日程

令和8年2月6日（金曜日）午後1時30分開議

- | | | |
|-------|------------|---|
| 日程第 1 | 会議録署名委員の指名 | |
| 日程第 2 | 会期の決定 | |
| 日程第 3 | 教育長報告 | |
| 日程第 4 | 報告第17号 | 教育長の専決に関する報告（会計年度任用職員の任用）について |
| 日程第 5 | 議案第37号 | 議会の議決を経るべき議案の原案について（令和8年度教育費一般会計予算、富弘美術館事業特別会計予算） |
-

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席委員（5人）

教 育 長	保 志 守		
職 務 代 理 者	石 戸 悦 史	委 員	金 子 祐 次 郎
委 員	岩 野 ひろみ	委 員	小 屋 佳 枝

欠席委員（なし）

傍聴（1人） 記 者

説明のため出席した者

教 育 部 長	金 高 吉 宏	教 育 総 務 課 長	今 泉 源 太 郎
学 校 教 育 課 長	神 山 亮 一	社 会 教 育 課 長 補 佐	原 正 人
文 化 財 課 長	赤 石 光 史	富 弘 美 術 館 事 務 長	星 野 美 苗

事務局職員出席者

教 育 総 務 課 長 補 佐	園 原 裕 一	総 務 係 主 任	岩 橋 香 奈
-----------------	---------	-----------	---------

◎開会・開議

午後1時20分開会・開議

○教育長 ただいまから、令和7年度第11回みどり市定例教育委員会議を開会いたします。

諸般の報告を申し上げます。

傍聴についてはあらかじめ許可をしております。

以上で諸般の報告を終わります。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○教育長 日程第1、会議録署名委員の指名をさせていただきます。本日は、席番4番の岩野委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

◎日程第2 会期の決定

○教育長 日程第2、会期の決定ですけれども、令和8年2月6日、本日1日ということにしたいと思っております。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○教育長 御異議なしの声がありましたので、本日1日と決定いたします。

◎日程第3 教育長報告

○教育長 日程第3、教育長報告を議題といたします。私から報告させていただきます。

1月21日、みどり市いじめ防止子ども会議がありました。今年も昨年同様、各校のいじめ防止活動の実践発表と意見交換が行われました。各児童生徒の自信を持った実践発表、それぞれの感想、アドバイス等が展開されていました。それを基に今行っている活動をブラッシュアップしていくという決意も述べていました。今後にさらに期待したいと思います。

22日、桐生市・みどり市学校保健会「学校保健研究協議会」及び「学校歯科保健関係表彰式」がありました。学校歯科医部会からは「むし歯と歯周病」について、桐生市立新里北小学校は「楽しく健康的な生活を送ろう」というテーマで、桐生高等学校は「桐高ヘルスプロモーションプロジェクト」という題で発表をされていました。大変わかりやすく実践的な発表だと感じました。そして、学校歯科保健関係表彰については、よい歯の学校表彰、学級表彰、よい歯の子の表彰、図画・ポスターコンクールの表彰、そして標語コンクールの表彰等がございました。

同日、桐生市・みどり市学校保健会懇親会がありました。両市の市長、議長等に御臨席いただき、総勢113名の出席者がありました。来賓の方のほかに、学校保健会役員、各学校の校長先生、養護教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等が出席されていました。日頃の感謝を込めて、それぞれの方とお話をさせていただき、有意義な時間を過ごすことができました。

23日、第4回県市町村教育長人事会議がありました。今年度及び来年度の人事に関する協議や説

明が行われました。

同日、みどり市PTA連合会新年会がありました。市長、議長、総務文教常任委員長を始め、総勢81名が出席されました。来年度は県P連の大会がみどり市で開催されるということで、一致協力体制を強化して市のPTA活動をアピールしていただきたいと感じました。

24日、第72回文化財防火デーに伴う防火訓練がありました。今年は大間々の穴原薬師堂にて開催させていただきました。昭和24年に法隆寺の金堂が炎上して壁画が消失したことを受け、昭和30年1月26日に文化財防火デーが定められました。保存会の皆さんを中心に、通報、初期消火、避難が行われました。そして、消防隊の放水訓練も行われ、約30分から40分ぐらいの時間で訓練が終了いたしました。大変有意義な訓練活動だと感じました。

同日、笠懸町婦人会新年会がありました。各種婦人会活動に御尽力いただいておりますが、特にこの時期、1月に開催される二十歳の集いの前に、毎年笠懸野文化ホールの周辺の清掃活動をしていただいていた、改めて感謝をさせていただきました。大変和やかな雰囲気、会食が終わった後には一緒に室内レクを行う時間もありました。

25日、第18回みどり市子ども会上毛かるた大会がありました。各地域の大会を勝ち抜いた代表者が県大会出場及び好成績を目指して、緊迫感のある熱戦が繰り広げられていました。県大会については、2月15日に開催が予定されています。昨年も各部門にみどり市の児童生徒が入賞している状況でしたので、今年も好成績を期待したいと思います。

同日、笠懸西小学校見守り隊意見交換会がありました。笠懸西小学校の開校に合わせて発足し、現在も40人ほど組織の人員がいらっしゃいます。区長も出席され、発足の経緯や要望等についてお話を伺いました。

26日、みどり市防災会議がありました。みどり市地域防災計画の改定に伴い、事務局から改定事項の説明等がありました。

27日、群馬県都市教育長協議会第4回定例会がありました。当番市は渋川市で、渋川市役所第二庁舎を会場に行われました。元々デパートがあったところを改造して市役所にしたということで、フロアが大変広々としていて、いろいろなことが1つの場所で完了できると感じました。会長から全国・関東の理事会の報告があり、来年度の本協議会の日程や、国に対する文教施策の要望について協議が行われました。会議の後には、第二庁舎の1階にある渋川市美術館の見学をさせていただきました。

29日、みどり市立学校適正規模・適正配置笠懸地区検討会第3回委員会がありました。第2回に引き続き笠懸町の学校について、将来の校数や位置等さらに具体的な協議が進められました。3回では答申がもらえませんでしたので、同一メンバーで4回目、5回目と続いていく形となります。

30日、総務文教常任委員会協議会がありました。今年度の卒業式、来年度の入学式の実施についての説明と、岩宿遺跡C地点の発掘調査の現地説明会についての報告をさせていただきました。

同日、桐生間税会「税の標語」表彰式がありました。今年は744点の応募があり、そのうち457点がみどり市でした。みどり市教育長賞の表彰状の授与をさせていただき、祝辞を述べさせていた

できました。みどり市では租税教育を推進していますが、今回応募した6年生の児童には、来年度以降中学生対象の税の作文に挑戦していただければと思います。

同日、桐生薬剤師会新年会がありました。今話題になっている薬価の見直しや医薬品の不足などの問題についてお話を伺うことができました。学校薬剤師としてお世話になっている方も多く出席され、感謝の言葉を述べさせていただきました。

31日、欠席となりましたが、群馬県剣道連盟みどり支部新年会がありました。

同日、ボーイスカウト桐生地区協議会新春指導者懇親会がありました。多くの来賓の出席があり、にぎやかに行われました。ボーイスカウトの方には、野外活動や体験的な活動によって子供たちの健全育成に御尽力いただいています。今後、地域と学校の協働活動が進んでいく中、学校教育についても支援していただく機会があるだろうと感じました。

2月1日、陸上自衛隊第12音楽隊みどり市演奏会がありました。大人気で2倍以上の応募があり、抽選により当選された方が来場されていました。今年もすばらしい演奏を披露していただきました。

2日、予算常任委員会協議会がありました。教育部からは3月補正予算について、教育総務課、学校教育課、富弘美術館から説明させていただきました。

3日、定例校長会がありました。日頃の子供たちの笑顔や前向きな姿にやりがいを感じていることや、年度末を迎え慌ただしい中ですが、健康に留意しつつ有意義で充実したまとめを行うようお話しさせていただきました。そして、県の教育長会議等に出席したときにユニパスについての話題が出ました。お子さんや御家庭が不登校の不という言葉にマイナスイメージを抱いてしまうため、別の言い方をということで山本知事から先月発表がありました。造語だそうです。こうした表現が使われていって、多様な学びという捉え方がさらに進んでいくのだろうと感じました。

同日、第4回東部地区人事会議がありました。東部管内の教職員人事に係る内容について共通理解を図ることができました。

同日、みどり市学校適正規模・適正配置大間々地区検討委員会第3回委員会がありました。みどり市全体を考えた検討になるようにという意見についての協議や、大間々南小学校を中心とした今後についての具体的な協議、学校給食提供方式についての意見を交わしていただきました。

4日、人事に関する情報交換会がありました。教職員組合桐生支部の先生方の訪問を受け、要望等を伺いました。

5日、両毛六市教育長会議がありました。情報交換を行い、今までの経緯も踏まえて、学校の再編に関わる各市の現状の報告がなされました。第2期ということで、みどり市になって2回目になりますが、3回、4回行っている市もあれば今回初めてというところもあり、それぞれ様々な事情があっ

て共通したことも多いと感じましたし、こういう視点で再編を進めているのだと参考になりました。

同日、欠席となりましたが、定例部長会議がありました。

同日、みどり市表彰審査委員会がありました。こちらも欠席させていただきました。

私からは以上です。教育長報告について、何かございますか。

[少し間あり]

○教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

○教育長 御質疑もないようですから、以上で質疑を打ち切り、日程第3、教育長報告は以上で終了いたします。

◇

◎日程第4 報告第17号 教育長の専決に関する報告（会計年度任用職員の任用）について

○教育長 続きまして、日程第4、報告第17号、教育長の専決に関する報告（会計年度任用職員の任用）についてを議題といたします。

議案書の朗読を事務局からお願いいたします。

〔議案書 朗読〕

○教育長 事務局の朗読が終わりましたので、教育総務課長より内容説明をお願いいたします。

〔教育総務課長 内容説明〕

○教育長 ありがとうございました。ただいまの説明に対し、何か御質疑があればお願いいたします。

[少し間あり]

○教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

○教育長 御質疑もないようですから、以上で質疑を打ち切り、日程第4、報告第17号、教育長の専決に関する報告（会計年度任用職員の任用）については以上で終了いたします。

◇

◎日程第5 議案第37号 議会の議決を経るべき議案の原案について（令和8年度教育費一般会計予算、富弘美術館事業特別会計予算）

○教育長 続きまして、日程第5、議案第37号、議会の議決を経るべき議案の原案について（令和8年度教育費一般会計予算、富弘美術館事業特別会計予算）を議題といたします。

議案書の朗読を事務局からお願いいたします。

〔議案書 朗読〕

○教育長 事務局の朗読が終わりましたので、各担当課長より内容説明をお願いいたします。

〔教育総務課長 内容説明〕

〔学校教育課長 内容説明〕

〔富弘美術館事務長 内容説明〕

〔社会教育課長補佐 内容説明〕

〔文化財課 内容説明〕

○教育長 ありがとうございました。まずは、教育費予算概要の項目について、何か御質疑があればお願いいたします。

○委員 学校給食費補助事業について、みどり市在住で特別支援学校に通っている方にも支援を行うということで、実現しているのはすばらしいと思います。特別支援学校は県立ですが、各学校で給食費の差はどのようになっているのでしょうか。

○教育総務課長 現状では各学校で差があり、給食が出ているところと弁当を持参するところもあります。今回ここでは、市で行っている給食と同等の額の補助をしたいと考えています。

○委員 ばらつきがあるとしても、一律で給付されるということですか。

○教育総務課長 はい。

○委員 3点ほど質問させていただきます。まず、学校給食費補助事業について、市内在住で市外に通っている人が対象とのことですが、反対に市外から市内の特別支援学校に通っている場合は補助があるのでしょうか。

次に、ジュニアアカデミー事業として小中学校で英会話教室を行っていくということですが、これはそれぞれの小中学校で考えているのでしょうか。また、英会話教室なので1学期に1回のような頻度だと忘れてしまうと思います。1か月に何回程度行うのかについてもお聞きしたいです。

最後に、スクールバスの拡充について、瀬戸ヶ原から大間々北小学校・大間々中学校へのスクールバスの運行を開始しますとありますが、現在瀬戸ヶ原地域から大間々北小学校や大間々中学校へ通っている児童生徒数と、今後の児童生徒数についても教えていただきたいです。

○教育総務課長 給食費につきまして、今回公立小学校はすべて国の補助の対象になります。居住地を問わず市外からみどり市に来ている児童も含めて、その学校に在籍する児童を集計する予定となっております。一方で、市内から市外の公立小学校へ通っている児童は通学先の学校で集計されます。中学校は今回補助の対象になっていません。みどり市内にある県立の特別支援学校ですが、市外から来ている場合あくまでも市外という扱いになります。市内から通っている生徒の世帯は補助の対象となります。

○社会教育課長補佐 2点目の御質問につきまして、語学ですので継続性という観点もあるかと思いますが、制度設計では2学期から各小学校で週に1回の実施を予定しております。

○学校教育課長 スクールバスの件について、来年度の児童生徒数は中学生1人と小学生5人の6人を予定しています。今まで送り迎えをしてもらっていましたが、昨年、予算の決まる頃に保護者の方から御相談があり準備をしていたところです。大間々北小学校には現在4台バスがあり、福岡地区と神梅地区を運行していますが、人数が少し減ってきましてバスが3台で済むようになります。その浮いた1台をこの瀬戸ヶ原地区へのスクールバスに充てることを予定しております。今後の児童生徒数の推移は正確にはわからないのですが、小学生がいくつかの学年に分かれていますので、しばらくは必要があると考えています。

○委員 中学生が1人含まれるとのことでしたが、その方が部活動等に入ったら帰りは保護者の迎えになるのでしょうか。

○学校教育課長 大間々中学校と同様、小学生バスと部活動バスの運行を考えています。

○委員 平日の個別日本語授業について、ほかの児童生徒が何の教科の授業をしているときに受けるのか教えていただきたいです。また、授業の合間に日本語授業を受けることで、ほかの児童生徒が受ける教科に遅れが出ないのか心配です。

○学校教育課長 ほかの児童が何をしている時間に実施するかは決めていません。市内で小学校1人、中学校1人ぐらいの指導者が巡回で行う予定で、その方のスケジュールで各学校を回っていくのですが、この子は何曜日の何時間目に個別指導をしましょうというのはこれから学校と相談して決めていくことになります。遅れが心配な教科の時間にはなるべく設定しないよう工夫していきたいと考えています。

○委員 外国籍の人が50人以上いるということですが、主にどのような国籍の人がいるのでしょうか。また、今後増える見込みはあるのでしょうか。

○学校教育課長 市内で一番多いのがベトナム、その次にバングラデシュ、インドという順番で、後はいろいろな国が混ざっています。今後増えるかどうかについては、ここ2、3年の数を見ていきますと毎年1.5倍ずつぐらい増えていますので、この先も増えるかと思います。今週もお2人急にお見えになっていて、ますます増えるだろうという印象を持っております。

○委員 土曜日の日本語集中講座について、業務委託をしている業者は継続で行っていくのでしょうか。

○学校教育課長 委託業者はGコミュニティというところで、県の委託を受け小中学生に限らず外国人支援を行っている法人です。今年度はその一部のGreen Peace KiryuというNPO法人にお願いしており、来年度も同じGreen Peace Kiryuの方に業務委託して行っていく予定です。

○委員 お一人の方ですか。

○学校教育課長 指導する方は10人前後いらっしゃると思いますが、みどり市の1回の講座には3名ぐらいの方に来ていただいて順番に指導いただいているという状況です。

○委員 何人が集まって行っているのですか。

○学校教育課長 多いときは1回に10人ぐらい集まることもあります。

○委員 水泳の委託事業について、笠懸西小学校とあずま小中学校にインストラクターを派遣する理由としては、笠懸西小学校には良いプールがあり、あずま小中学校は距離が遠いためでしょうか。

○学校教育課長 今おっしゃっていただいたとおりで、笠懸西小学校の場合は、新しい良いプールがあるためです。あずま小中学校については、移動の時間だけで1時間半程度かかってしまい、併せて指導の時間を確保していくと半日がかりになってしまうので、それを解消するためインストラクターの派遣を考えています。

○委員 給付型奨学金事業は昨年度から始まった新しい事業ですが、給付を希望する方が大学4年間継続して給付を受けることもあり得るということでしたよね。今後は継続する人と新規の人が関わってくるということで、来年度以降拡大していくのでしょうか。

○教育総務課長 今年度については1名確定していて、問題なければ来年度以降も4年間継続となると思います。前は10人という枠を設定しましたが、今回実際に行ってみて多かったと感じたため若干名としました。1人100万円以内で今年度は最大3人を見込んでいて、来年以降は追加があればその人数を足して引き続き行っていく予定です。

[少し間あり]

○教育長 それでは次に、予算見積もり調書の項目について、何か御質疑があればお願いいたします。

○委員 令和8年度の歳入と歳出の見積もり額を見ると、歳入は5億7,600万円、歳出は29億4,500万円となっていて、歳入と歳出の金額がこの段階では大きく異なっていますが、今後どのような動きになるのでしょうか。

○教育総務課長 歳入歳出が合致しないのは、教育部としての歳入のみが計上されているためです。今年度の教育総務課の例を1つ挙げさせていただきますと、歳入の小学校費国庫補助金について、前年度は1億3,000万円の歳入がありますが、学校改善交付金で今年度中に補正を行うこととしたため、来年度の新年度予算には上げていません。その分歳入として差額が出ています。また、前年度との差額が4,500万円となっていますが、事業の量が減ったことも影響しています。

○委員 繰越明許の関係や、一般財源が入ってくることもあるので、現段階では必ずしも数字が一致していなくても大丈夫だということですね。

○教育総務課長 はい。

○委員 保健体育費県補助金について、令和8年度の見積額が載っていますが、6年度と7年度には載っていません。どのようなものなのか教えていただけますか。

○教育総務課長 国と県から公立小学校の給食費の補助が出る見込みとなっており、県の補助金の分を計上させていただいております。教育費の県補助金の中に、保健体育費県補助金という枠がありまして、細節の市町村学校給食費軽減交付金という項目が該当します。

○委員 富弘美術館の特別会計について、一般職員人件費が減った理由を教えてください。

また、予算編成方針として、SDGs、こども未来、魅力発信をテーマに選ばれるまちづくりを基本方針とする中で、魅力発信が重要だと思いますが、予算の中に数値として表れなくてもどのくらい魅力発信に力を入れているかについても教えてください。

○富弘美術館事務長 一般職員人件費については、みどり市の正規職員が昨年度から今年度にかけて1名減となったため減少しています。

魅力発信について、テクノロジーアート等で魅力の発信をするという部分では、企画・展示で791万円となっております。広報でも郵送費として136万円ほど計上しています。後はSNS等での発信になりますので、通信費等にとどまるというところでございます。

○委員 ありがとうございます。富弘美術館だけでなく、全体的にいろいろな取り組みをしていることをどのように発信していくかを考えなくてはならないと思います、質問させていただきました。

[少し間あり]

○教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

○教育長 御質疑もないようですから、以上で質疑を打ち切り、お諮りいたします。日程第5、議案第37号、議会の議決を経るべき議案の原案について（令和8年度教育費一般会計予算、富弘美術館事業特別会計予算）、本案を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

賛成委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○教育長 挙手全員ですので、本案は原案のとおり決定することといたします。



◎閉 会

○教育長 以上で、本日の議事は全て終了いたしました。これをもって、教育委員会議を閉会といたします。大変お疲れさまでした。

午後2時42分閉会

教育委員会会議規則第16条第2項の規定によりここに署名する。

教育委員会教育長 保 志 守

教育委員会教育委員 岩 野 ひろみ